

外国からきた 新語辞典

第4版

商学博士・法学博士・文学博士 斎藤栄三郎 編



SHUEISHA

DICTIONARY OF FRESH WORDS
FROM FOREIGN LANGUAGES

外国からきた
新語辞典

第4版

商学博士・法学博士・文学博士

斎藤栄三郎 編

集英社

昭和 36 年 5 月 25 日 初 版第 1 刷発行
昭和 40 年 5 月 10 日 初版増補第 1 刷発行
昭和 45 年 8 月 20 日 新 版第 1 刷発行
昭和 49 年 8 月 1 日 第 3 版第 1 刷発行
昭和 54 年 3 月 30 日 第 4 版第 1 刷発行
昭和 55 年 5 月 20 日 第 4 版第 6 刷発行



外国からきた新語辞典 第 4 版

編 者 齋 藤 栄 三 郎

発行者 堀 内 末 男

印刷所 大日本印刷株式会社

発行所 株式 集 英 社
会社

東京都千代田区一ツ橋 2-5-10

電話 販売部 東京 (238) 2781

出版部 東京 (230) 6381

郵便番号 101

© 1961 落丁・乱丁の際はおとりかえします
0581-415002-3041

は し が き

デラックスなアパートで、軽くジャンパーを引っ掛け、カラー・テレビでプロ・レスを見ながら、ホーム・バーを楽しむ——まったくわれわれの生活は一変した。それだけに、もはやわれわれは外国からきたことばなしには、読書はおろか、日常の会話さえできなくなった。とかくの批判もあるが、このおびただしい外国語を正しく理解し使用することは、現代日本人には一つの義務である、といっても過言ではない。

それにもかかわらず、これらの外国語ばかりを集め、これの本来の意味を示し、これをどんな風に国語化して行くかの正しい使い方を指導する書物は皆無に等しかった。本書はこれを遺憾として、日常語化したものを中心に、一般人にも関連のあるテクニク（専門語）を加え、別に主要な人名と地名を選定して、初めて国語となった外国語の総合辞典としたものである。特に新しい外国語に力を注ぎ、たとえば、コンビナート、レジャー、ヌーベル・バーグなどの先端語を入れたことはいうまでもない。また、最新の傾向として、外国語を単に単語として用いることから、次第に「合成語」（～で示す）に進展させるのを重視して数多く採り入れたのも、一つの新しい形式と思う。

かくして総語数11,000、この種出版物では最高なものとなった。なお、われわれに親しみのある人名と地名を別載したが、これも新しいもの——カサブブ、ルムンバ（人）、モリタニア、マルガシュ（地）などアフリカ関係を明示したことも、読者に喜んでいただけると信じる次第である。

本書の編集は辞典界のベテラン佐々木久氏の協力を得て、内容・形式とも整備されたことは感謝にたえない。一言付記して、広く社会人や学生諸君の御愛用を願ってやみません。

1961年3月

齋藤栄三郎

改版のことば

本書は初版発売から4年、幸いに望外の御好評を博しました。この種の特殊辞典としては珍しいことであります。ここに心からなる感謝の意を表します。

しかし、発売以来のわずかな歳月の間にも、海のかなたのことばが、大波のように押し寄せてきます。特に東京オリンピックをめぐるわが国の飛躍は外来語の使用に拍車をかけた観があります。衣のプレタ・ポルテ、食のナツメグ、住のプレフッブなど、日常生活に変革を与える用語が、何のためらいもなく加えられております。

本書も初版発売には「最新」(up-to-date)を自負しておりましたが、今日となっては、やはり古くさい感じは免れません。ここに改版を断行した所似であります。新たに約1,000語を加え、総語数約12,000となり、また新鮮味を出すことに苦心して、御利用の方々の御役に立つことを期した次第であります。幅広い読者層のすみずみまで御愛読を願ってやみません。

1965年2月

編 者 誌

増補改訂に際して

初版を出してから10年になるが、お蔭様で順調に版を重ねてきたことは、この上なく喜ばしいことである。目まぐるしく変転する社会の中にあって、ことばも新しく生まれ、そして死んで行く。新語を拾い、この辞典を充実して行くことは大変な仕事であるが、やり甲斐のあることでもある。

ここに改版して、内容を一新するほどの増補改訂を行った新版を出版するに当たり、従来通りの御支援をお願いすると共に、本書が、日本の文化にいくぶんでも貢献できれば望外の幸である。

文化とは知識の集積である。本書の中にも昭和の御代の文化がある筈である。御協力を得て立派なものに育てあげたいと念願する次第である。

1970年5月

齋藤栄三郎

第4版に際して

大幅な全面改訂を行った新版を出して以来9年の歳月を経たが、その間、第3版で若干の新語を増補したものの、氾濫するカタカナ新語に対処しきれず、今回ここに改版して、全面的に改訂した。

この度の改訂に際しては、激増する新語を迅速に収録できるように、改訂能率を高めるコンピューター組版を採用、本文には、一般語と略語を約12,000項目収録し、内容の充実に努めた。特に、マスコミ用語はもちろん、コンピューター、オーディオ、服飾デザイン、ゴルフなどの専門用語等を初め、有名ブランド名等も幅広く採り入れて実用性を高めた。

時代と共に歩み続けるこの辞典が、今まで以上に多くの方々に利用されることを願ってやみません。

1979年2月

齋藤栄三郎

この辞典の特色と使い方

1. 編集方針について

- (1) この辞典は、現代日本で用いられている外国から来た新語を広く集めて、何時でも、どこでも気軽に引けるように、便利で役に立つ実用的な辞典として細部にいたるまで丁寧に、きめ細かく注意して編集した。
- (2) この辞典は、現代生活に必要な外来語 約12,000語を、一般語と略語に分けて収録した。特に、情報化社会といわれ、世界各国のことばが次から次へと流入し、用いられている現代においては、用語に対する正しい理解・認識がなければ、正確なコミュニケーションは期しがたい。そこで、現代の真髄に触れるため、日常語や卑近に用いられる新語はもちろんのこと、マスコミに登場することば、さらには電子計算機・オーディオ・宇宙科学・文芸・政治・経済などの専門語にいたるまで、幅広く、しかも数多く採り入れて、新語辞典だけでなく多目的な辞典となるように留意して編集した。
- (3) 解説は、できるだけ簡明に、やさしく、かつ実用的な説明とするように心がけた。

2. 発音と表記について

- (1) 外来語の発音は、慣用による日本語化した発音に従って表し、その表記は文部省の「現行の国語表記の基準」に準拠した。

〈例〉 **コーディネーション** [coordination] 英語では、
[kəʊ:diːnɪʃən, コウオーディネーション] と発音するが、日本語における一般的ないい方に従って、上のように記した。
- (2) V音（ドイツ語はW音）は、原則として「ヴ」系の文字を用いずに「バ」行音で表した。

〈例〉	[value]	バリュー	(ヴァでなく)
	[video]	ビデオ	(ヴィでなく)
	[veteran]	ベテラン	(ヴェでなく)
	[volume]	ボリューム	(ヴォでなく)
- (3) X音は原則として、「クサ」「クシ」「クス」「クソ」の表記をとったが、「キサ」「キシ」「キス」「キソ」と一般にいられているものは、この表記で示した。

〈例〉	エクステンジ	(エキでなく)
	キック ボクシング	(ボキでなく)
	(例外) エキサイト	エキゾチック

- (4) ti, tu, di, du音は、特に原音に近く発音する場合もあるが、多くは次のとおりに表した。

〈例〉 (ti音は チに)

[team colour] チーム カラー

[tip shot] チップ ショット

(例外) [teach-in] ティーチ イン

(tu音は チュに)

[tuner] チューナー

[tutor] チューター

(di音は ジに)

[distoma] ジストマ

[dilemma] ジレンマ

(例外) [director] ディレクター

(du音は ジュに)

[Duralumin] ジュラルミン

(例外) [education] エデュケーション

3. 見出し語について

- (1) 見出し語の配列は50音順とし、長音はその発音がア列のものはア、イ列のものはイ、ウ列のものはウ、エ列のものはエ、オ列のものはオの重なりと見なした。

〈例〉 アース = ア^oアス
 シード = シ^oイド
 スーパー = ス^oウパ^oア
 デート = デ^oエト
 ホーク = ホ^oオク

- (2) 清音・濁音・半濁音の順に配列した。

〈例〉 ホール
 ボール
 ポール

- (3) 同音の語でつづりの異なるものは、それぞれを見出し語とし、アルファベット順に配列した。

〈例〉 アイドル [idle]
 アイドル [idol]

- (4) 複合語については、もとになる見出し語の次に日本語を含む複合語を配列し、その後2語以上からなる複合語を配列した。

〈例〉 アクセス
 アクセス権
 アクセス タイム

- (5) つづりは、原則として日本に入ってきたと考えられるものを採用した。なお、外来語の大半は英(米)語である。原語に一つ一つ、これを明示するのはかえって混乱をきたすおそれがあるので省略した。また、つづりに英米の違いがある場合は、原則として、英語のつづり字法を採用した。その他のものには必

ず、その国語名を入れ、その表示の方法は略語一字で示し、次のようにした。

① 和製語	② 中国語
③ イタリア語	③ 朝鮮語
④ オランダ語	④ ドイツ語
⑤ ギリシア語	⑤ フランス語
⑥ サンスクリット (梵語)	⑥ ポルトガル語
⑦ スペイン語	⑦ ラテン語
	⑧ ロシア語

なお、略語でわかりにくいものは、国語名をかなで別記した。

〈例〉 アラー [Allah]

- (6) 日本語を含む複合語については、日本語の部分を漢字で示し、つづりの箇所に対応する外国語、それのない場合には「〜」で表記した。

〈例〉 アクリル酸 [acrylic acid]

パネル調査 [panel ~]

- (7) 中国語と朝鮮語については、ローマ字つづりと相当する漢字とを示した。

〈例〉 ニー ハオ [ni hao (你好)]

チョコリ [chokoli (赤古里)]

- (8) 和製語については、そのもとになった外国語で示した。ただし、それが転化・略・合成語などとして表されている場合には、解説を加えた。

〈例〉 ゴールデン ウイーク [golden week]

バンス [vance] 前借り、advance の略。

アジト アジテーション (agitation) とポイント (point) の合成語。

- (9) 商品名・会社名などは初めの文字を大文字で示し、解説中に商標名と示した。

〈例〉 イブ サン ローラン [Yves Saint Laurent]

フランスの服飾デザイナー名、またそのデザインによる衣服・化粧品などの商標名。

4. 解説文について

- (1) 解説は原則として、当用漢字・現代かな遣いを用い、わかりやすく、簡潔に示したが、当用漢字表以外の漢字を用いたほうが理解しやすい場合には、() の中に読みを入れて、当用漢字表以外の漢字で表記した。
- (2) 解説の配列は、現在もっとも広く用いられていると考えられる意味を最初におき、語源的な説明などは後ろにまわした。
- (3) その語・語義の反対語は、⇔を用いて示した。また、用例は解説の補助になるものについてだけ入れ、例を用いて示した。
- (4) 一つの語でいくつものいい方があるものは、それぞれを見出し語として表示し、参照する項目を → で示した。

- (5) 二つの外国語を含む複合語については、解説の中で、それをなるべく明記し、用語に対する理解を深めるようにした。

〈例〉メートルグラス〔和 mètre glass〕液量計。フランス語と英語の合成語で、正しくは measuring glass という。

- (6) ことばが専門語である場合は、これを略語で示した。また、この略語は解説の補助としても用いた。

〈例〉オペレーション〔operation〕①〔経〕公開市場操作。②〔医〕手術。③〔軍〕作戦。④〔算〕電子計算機などの操作。

専門語は、次のような略語一字によって表示した。

〔医〕	医学・生理	〔言〕	言語学	〔天〕	天文
〔印〕	印刷	〔広〕	広告・宣伝	〔電〕	電気
〔映〕	映画	〔鉱〕	鉱物	〔登〕	登山
〔音〕	音楽	〔算〕	電子計算機	〔動〕	動物
〔化〕	化学	〔写〕	写真	〔農〕	農業
〔気〕	気象	〔社〕	社会	〔美〕	美術
〔機〕	機械	〔宗〕	宗教	〔服〕	服装
〔魚〕	魚類	〔植〕	植物	〔文〕	文学
〔競〕	スポーツ	〔心〕	心理学	〔法〕	法律
〔教〕	教育	〔数〕	数学	〔放〕	放送
〔軍〕	軍事	〔生〕	生物	〔薬〕	薬品・薬学
〔経〕	経済・経営	〔政〕	政治	〔容〕	美容
〔芸〕	芸術	〔地〕	地理・地質	〔理〕	物理
〔劇〕	演劇	〔鳥〕	鳥類	〔料〕	料理
〔建〕	建築	〔哲〕	哲学	〔歴〕	歴史

なお、スポーツについては、〔競〕の後に〔(ボ)ル〕・〔(野)球〕などとして種目を付け加えた。ただし、陸上競技、スポーツ一般の用語には、これを省いた。また、種目が3つ以上にわたる場合には、解説中に代表的な種目を示すのにとどめた。

5. 略語について

- (1) 「略語」は、最近ますます重要性を加えてきている。欧米語のようなつづり字でいくことばでは、どうしても長くなりやすく、いきおい略語が多く用いられる。そのため「略語」だけでは、もとのことばの見当がつかない場合も多くある。各界にわたると略語の数は相当なものであろうが、ここでは、もっとも普遍的なもの、日常よく目にするものに限った。
- (2) 略語は、そのほとんどが頭文字をとって作成されるが、アルファベットの組み合わせでは、たとえば UNESCO (ユネスコ) などのように、まったく新しい発音になる場合もある。この辞典では、それらの略語は大半を一般の外来語として取り扱い、略語では → で示したものもある。

6. 付録について

- (1) 日本語・英語・フランス語・ドイツ語・イタリア語・スペイン語・ロシア語・中国語の日常よく用いられると思われる単語と簡単な会話を内容別にまとめて収録した。
- (2) 世界の独立国と首都、主要な都市、および主な国際空港を世界地図で示した。

7. 写真・図版について

この辞典では、随所に写真・図版を入れて、解説に資するとともに、読者を辞典のもつ堅苦しきから解放するようにくふうした。

写真および資料提供先

赤井電機（株）	日本楽器製造（株）
アトム（株）	日本玩具協会
アメリカン・センター	日本航空（株）
石川島播磨重工業（株）	日本国有鉄道
運輸省	日本産業デザイン振興会
カナダ政府観光局	日本短波放送（株）
気象庁	日本電信電話公社
近畿日本鉄道（株）	日本電装（株）
警視庁	日本フィールドアスレチック協会
京成電鉄（株）	日本ヘルスメーカー（株）
工業技術院機械技術研究所	間組（株）
国際羊毛事務局	バピーシューズ（株）
小松製作所（株）	ファルホーク（株）
シチズン商事（株）	富士写真フイルム（株）
食品産業センター	富士通（株）
シルバーフォックス（株）	フランス大使館
新日本製鉄（株）	本田技研工業（株）
生活用品振興センター	ホンダランド（株）
創価学会	マスレジャー研究所（株）
帝都高速度交通営団	町田製作所（株）
東亜国内航空（株）	松下通信工業（株）
東京計器（株）	三井造船（株）
東洋アミューズメント（株）	三菱化成生命科学研究所（株）
豊島園（株）	宮崎県観光連盟
トヨタ自動車販売（株）	ヤマハ発動機（株）
日産自動車（株）	リコー教育機器（株）
ニッポー（株）	レッツゴー・セーリング・クラブ

地図	実森地図製図所
図版	大山デザイン
編集	エディトリアル・プランニング

ア

アーガイル [argyle] ④セーターやくつ下によく見る派手なひし形の格子柄。アーガイル チェックの略。もとスコットランドの地方名 Argyll から出たことば。

アーク [arc] 弧。弓形。

アーク ライト [arc light] 放電燈の一つ。アーク ランプ。アー
アーケイズム [archaism] →アルカイズム。 [ク燈。

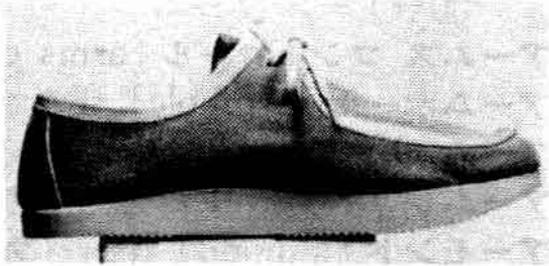
アーケイック [archaic] →アルカイック。

アーケード [arcade] 通路に屋根のある商店街。またはその屋根。

アーゴノミックス [ergonomics] 人間工学。ヒューマン エンジニアリングともいう。

アース [earth] ①電電気器具の接地線。②地球。大地。③接地。ロケットが地球に帰着すること。

アース シューズ [Earth shoes] つま先の方がかかとより高くなつたくつの商標名。



アース デー [Earth Day] 地球の日。1970年にアメリカで始まった公害防止運動の日。

[アース シューズ]

アーチ [arch] ①弓形。②弓形の門。

アーチェリー [archery] ④競洋弓。弓術。弓道。

アーチザン [artisan] →アルチザン。

アーティスト [artist] 芸術家。美術家。画家。 ⇄アルチザン。

アーチ ダム [arch dam] 中央がアーチ形の堤になったダム。

アーティクル [article] ①法律などの条項。②記事。③冠詞。

アーティフィシャル [artificial] 人造の。人工の。

アーティフィシャル ファイバー [artificial fiber] ④人造繊維。

アーティフィシャル フラワー [artificial flower] 造花。

アーティフィシャル ライト [artificial light] 撮影用の人工光線。

アート [art] ①芸術、特に美術。②技術。

アート シアター [④ art theater] 芸術的に優れた映画や実験的な映画を上映する映画館。

アート シルク [art silk] 人造絹糸。人絹。

アートタイプ [artotype] ④つや消し写真版。コロタイプ。

アート ディレクター [art director] ①広告や宣伝についての共同作業で、権限と責任をもって、全体を統合し演出する人。②映画美術監督。

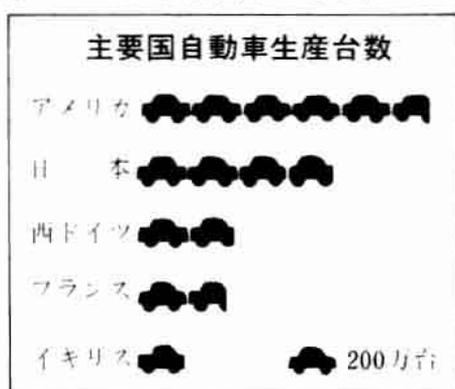
アート バイヤー [art buyer] おもに商業美術の領域で、その制作に関連する情報提供や人材紹介をする職業を営む人。

アート フォー アート [art for art] 芸術のための芸術。

アート ロック [Art Rock] ④ジャズのアドリブ手法や特殊なエ

- レクトロニック サウンドを強調した新形式のロック音楽. ニューロック, 前衛ロックともいう.
- アーバン** [urban] 都市の. 都会風の.
- アーバン ストラクチャー** [urban structure] 道路・ガス・水道など都市を構成するための基本的な要素・条件. 「こと.
- アーバン デザイン** [urban design] 都市計画にそって設計する
- アービトレーション** [arbitration] 裁定. 仲裁. 「③……の夕べ.
- アーベント** [Ⓛ Abend] ①夕方から催す演奏会. 映画会. ②夕方.
- アーマー工法** [armour ~] 建よろい工法. 鋼板の内側を掘り進むトンネル工事法の一つ.
- アーマチュア** [armature] 電機機子. 継電器の接極子. 「色.
- アーミー ブルー** [army blue] 服 アメリカ陸軍の軍服のような青
- アーミン** [ermine] ①動イタチ科の動物で, オコジョ. 貂(貓). ②服オコジョの白い毛皮.
- アーム** [arm] ①腕. ひじ. ②機械・器具などの腕の形をした部分. ③→トーン アーム.
- アームズ コントロール** [arms control] 軍備管理. 軍備抑制.
- アームホール** [armhole] 服そでぐり. そでぐり寸法.
- アーム リング** [arm ring] 服腕や手首につける装飾品.
- アームレット** [armlet] 服①上腕に飾る腕輪. ②小さく短いそで.
- アーモンド** [almond] ①植バラ科の落葉果樹の一つ. またその果実の種. ②やや灰色がかった緑色.
- アーラ** [AALA] アジア アフリカ ラテンアメリカの略称. Asia, Africa, Latin America の略.
- アーリー バード** [Early Bird] 1965年アメリカが初めて打ち上げた商業通信衛星インテルサット1号の愛称.
- アーリー リタイアメント** [early retirement] 若年定年. 「a.
- アール** [⑦ are] 面積の単位の一つで, 100平方メートル. 記号は
- アール ヌーボー** [⑦ art nouveau] 芸新芸術. 特に20世紀初頭に興った美術・工芸・デザイン・建築などの新様式.
- アールド ラン** [earned run] 競(野球)自責点.
- アイ** [eye] ①目. ②マジック アイの略称で, ラジオなどの同調状態を示すランプ.
- アイアイ** [aye-aye] 動マダガスカル産のユビザル.
- アイアン** [iron] ①競(馬)鉄製の頭部をもつクラブの総称. ⇔ウッド. ②アイロン. ③鉄. 鉄製品.
- アイアン エージ** [Iron Age] 歴鉄器時代.
- アイアン ディシプリン** [iron discipline] 鉄則. 軍律のように絶対に破ってはならない規律.
- アイアン ラング** [iron lung] 医鉄の肺. 鉄製の呼吸補助機.
- アイアン ロー** [iron law] 経賃金鉄則. 現在の資本主義下では賃金増加→労働者増加→賃金低下を繰り返す, 賃金は一定額以上には上がらないという法則. 「nization の略.
- アイ エル オー** [ILO] 国際労働機関. International Labor Orga-

- アイ オー ユー [IOU] 借用証書. I owe you の音をとった略語.
- アイ カメラ [eye camera] 眼球運動記録装置. 目が視野のどこを注視し, 注視点がどう移動するかを調べる.
- アイ キャッチャー [eye catcher] 人目をひくための広告宣伝用の効果的な特定の絵柄.
- アイ キュー [IQ] 知能指数. intelligence quotient の略.
- アイコノクラスト [iconoclast] 偶像破壊主義者.
- アイコノクラズム [iconoclasm] 偶像破壊. 旧習打破.
- アイコノスコープ [iconoscope] テレビ映像用の撮像管.
- アイ シー [IC] 電集積回路. 部品から配線までを一つの小さな板に集積させた回路. integrated circuit の略.
- アイシー ロード [icy road] 氷結した道路.
- アイシェード [eyeshade] 目を保護するための帽子のひさし状のもの. テニスなどでよく使う. サンバイザーともいう.
- アイ シャイナー [eye shiner] 容下まぶたのまつげの内側に塗る化粧品. 目が魅力的に見える.
- アイシング [icing] ① 籠(りかご)センター ライン手前からパスやシュートをしたバックが相手側のゴール ラインを越えること. ② 料ケーキなどにかぶせる糖衣. ③ 着氷. 氷の被膜.
- アイジングラス [isinglass] 魚の浮き袋からつくるにかわ.
- アイス キューブ [ice cube] 電気冷蔵庫でつくる角状の氷片.
- アイス テクニック [ice technique] 登固い雪や氷の上の登山技術.
- アイス ピック [ice pick] 氷を砕くきり.
- アイス ペール [ice pail] 卓上用氷入れ.
- アイスボックス [icebox] 冷蔵箱.
- アイゼン [Ⓣ Eisen] ① 登登山ぐつもの底の鉄のかんじき. ② 鉄.
- アイソタイプ [isotype] 文字や数字の代わりに象徴的な図形などで視覚的に表現する絵文字. international system of typographic picture education の略.
- アイソトープ [isotope] 同位元素. 質量数はちがうが, 化学的な性質が同じである元素. 同位体ともいう.
- アイソメトリックス [isometholics] 筋肉強化訓練法. アメリカ海兵隊が採用している. 「念. イデー.
- アイディア [idea] ① 考え. 思いつき. 着想. ② 思想. 観念. ③ 哲理
- アイディア マン [Ⓢ idea man] 新しい着想・計画にあふれた人.
- アイディアライズ [idealize] 理想的にする. 「者.
- アイディアリスト [idealist] ① 理想主義者. ② 哲観念論者. 唯心論
- アイディアリズム [idealism] ① 理想主義. ② 哲観念論. 唯心論. ③ マテリアリズム.
- アイディアル [ideal] 理想的な. 観念上の.



[アイソタイプ]

- アイディーカード** [ID card] ①身分証明書. identity card の略.
②㊦テレビ放送の前後に映す局名やスポンサー名を表示するスライド. identification card の略.
- アイティービー** [ITV] 工業用テレビ. 一般放送用ではなく, 工場や商店の作業用などに用いる. industrial television の略.
- アイテム** [item] ①細目. 項目. 種目. ②㊦磁気テープに記録される1項目のデータ.
- アイデンティティー** [identity] 自分とはこういう人間であるという明確な存在意識. 主体性.
- アイデンティファイ** [identify] 同一視する. 同一事物と確認する.
- アイデンティフィケーション** [identification] ①同一にすること. 同一事物と確認すること. ②㊦表現に統一性や一貫性をもたせること.
- アイドカ** [AIDCA] ㊦客の購買行動に至るまでの心理変化を示したもので, 広告制作の基本原則. 注意 (attention)・興味 (interest)・欲望 (desire)・確信 (conviction)・購買行動 (action) の略.
- アイトス** [ITOS] アメリカの実用気象衛星. Improved TIROS Operational Satellite の略.
- アイドホール** [㊦ Eidophor] 拡大投射装置. テレビと同時に映画館でも写せる装置.
- アイドマ** [AIDMA] ㊦人間が行動する場合の心理過程を示すもので, 広告制作の基本原則. 注意 (attention)・興味 (interest)・欲望 (desire)・記憶 (memory)・購買行動 (action) の略.
- アイドリング** [idling] ㊦エンジンの空転・遊転・遊びの状態.
- アイドル** [idle] ①怠けた. ②暇な.
- アイドル** [idol] ①人気者. ②偶像. 崇拜される人や物.
- アイドルコスト** [idle cost] ㊦生産設備や労働力を十分に利用しないことから起こる損失. 休業費.
- アイドルシステム** [idle system] ㊦生産を減らす必要のあるとき, 労働者を解雇せず, 労働時間を短縮して, それだけ賃金を減らして支払う制度. 失業救済法の一つでもある.
- アイドルタイム** [idle time] ㊦遊休時間. 機械の故障や原材料の遅延などのために生産設備が十分に活用できず, 労働力が空費される時間. 「登録しておく.
- アイバンク** [eye bank] 眼球銀行. 角膜の提供者が, 生存中から
- アイビーエム** [IBM] アメリカの電子計算機製造会社名. International Business Machines Corp. の略.
- アイビースタイル** [Ivy style] ㊦若い男性向きの背広の型. 肩が自然のなで肩で, ずんどう, ボタンは3つある.
- アイビーリーグ** [Ivy League] アメリカ東部のブラウン・コロンビア・コーネル・ダートマス・ハーバード・プリンストン・ペンシルバニア・エールの8名門大学のフットボールリーグ.
- アイビールック** [Ivy look] ㊦アメリカの名門大学の学生の服装から出た紳士服のスタイル. 日本では1965年(昭40)頃から流行

した。

- アイブロー [eyebrow] まゆ毛。 「と。
- アイブロー シェープ [eyebrow shape] 容まゆ毛の形を整えること。
- アイブロー ブラッシュ [eyebrow brush] 容まゆ毛の手入れに使う小さなはけ。
- アイブロー ペンシル [eyebrow pencil] 容まゆ毛を描く墨鉛筆。
- アイボリー [ivory] ①ぞうげ。 ②ぞうげ色。 白に薄い黄と薄い赤味のはいった色。
- アイボリー ブラック [ivory black] ぞうげ黒。 焼いたぞうげからつくる黒色の絵の具。
- アイボリー ペーパー [ivory paper] 厚くて光沢のあるぞうげ色の洋紙。 絵葉書などに用いる。
- アイモ [Eyemo] 写携帯用の映画カメラの商標名。
- アイ ライン [eye line] 容目をはっきり大きく見せるため、上下のまつげの生えぎわに細く入れる目張り。
- アイラッシュ [eyelash] まつげ。
- アイラッシュ カーラー [eyelash curler] 容まつげをはさんで上向きにさせ、目を美しく見せる用具。
- アイランド キッチン [island kitchen] 建調理台・レンジ・流しなどをまとめて、中央に備えた台所。
- アイリス [iris] ①植アヤメ。 ②写レンズの絞り。 ③医虹彩(きうさい)。
- アイリス アウト [iris-out] 映絞り閉じ。 画面の全面から徐々に一部分に絞っていく技法。 ⇄アイリス イン。
- アイリス イン [iris-in] 映絞り開き。 画面の一部から徐々に全面を映し出す技法。 ⇄アイリス アウト。
- アイリッシュ コーヒー [Irish coffee] アイルランド風コーヒー。 ウイスキーと生クリームがはいっている。
- アイレット [eyelet] 服刺しゅうの穴かがり。 はとめ。
- アイロタイシン [Ilotycin] 薬フィリピンで発見されたペニシリンに似た抗生物質の商標名。 学名はエリスロマイシン。
- アイロニー [irony] ①皮肉。 風刺。 反語。 ②言修辞法で反語法。
- アイロニカル [ironical] 皮肉な。
- アインスタイニウム [einsteinium] 化放射性元素の一つで、記号はEs。 1952年アメリカで発見された。 アインシュタインの名から命名。 アインシュタイニウムともいう。
- アインフュールング [①Einfühlung] 文感情移入。 芸術作品や自然を対象に感情を投射し、対象に共感すること。 「むこと。
- アウトアルキー [①Autarkie] 経一国が自給自足で経済生活を営
- アウトティング [outing] ①遠出。 遊山。 ②服外出着。
- アウト [out] ①外側。 ⇄イン。 ②競(野球)打者・走者が攻撃する資格を失うこと。 ⇄セーフ。 ③競(野球)打球がコート外に出て失点になること。 ④競(馬)18ホールの前半の9ホール。 ⇄イン。
- アウト ウエア [①out wear] 服上着の総称。 コート・スーツ・セーターなど。

- アウト オブ デート** [out-of-date] 時代後れの。⇔アップ ツー デート。
- アウト オブ バウンズ** [out of bounds] ①(競)バレーボールやバスケットボールで、球またはその保持者がコート境界線から出ること。②(弓)プレーを禁じられた地域、またはそこに球がはいること。略してOBともいう。
- アウト オブ ファッション** [out of fashion] 流行後れ。
- アウト オブ プリント** [out of print] 絶版。
- アウト オブ プレー** [out of play] ①(競)フットボールやサッカーなどで、球が場外に出て試合が中断すること。
- アウトサイダー** [outsider] ①(経)集団から疎外された者。集団に同化しない者。②(部)部外者。局外者。③(経)カルテルや同業組合などに加入していない同業者。
- アウトサイダー規制** [outsider ~] 政府が非組合員に対して組合の協定に従うよう行政指導すること。
- アウトサイダー ユニオン** [outsider union] 法外組合。労働組合法に規定された要件に欠ける組合。
- アウトサイド** [outside] ①(外)外部。外側。②(競)テニスやピンポンなどの線の外側。③(野)球外角。⇔インサイド。
- アウトサイド ポケット** [outside pocket] (服)上着の表側につけてあるポケット。外ポケット。
- アウト シュート** [out-shoot] (競)球投手の投球が打者の近くで外角へそれること。⇔イン シュート。
- アウト ツー アウト** [out to out] (経)外債発行で集めた外国の資金を外国で運用する方式。⇔アウト ツー イン。
- アウト ツー イン** [out to in] (経)外債発行で集めた外国の資金を国内で運用する方式。⇔アウト ツー アウト。
- アウトドア** [outdoor] 戸外の。屋外の。⇔インドア。
- アウトドア スポーツ** [outdoor sports] 戸外で行う運動。⇔インドア スポーツ。
- アウトドア セット** [outdoor set] (映)野外撮影のセット。
- アウトバーン** [(Ⓛ)Autobahn] ドイツの高速自動車専用道路。
- アウトフィールド** [outfielder] (競)球外野手。
- アウトフィールド** [outfield] (競)球外野。「服装の一そろい。」
- アウトフィット** [outfit] (服)旅行や運動など、特別な場合に用いる
- アウト フォーカス** [out focus] (写)焦点を意識的に外して写す撮影法。⇔パン フォーカス。
- アウトプット** [output] ①(電)出力。②(経)産出。生産高。③(算)情報を取り出すこと。⇔インプット。
- アウト ボクシング** [out boxing] (競)球巧みに相手から離れて戦う戦法。⇔インファイト。「ト。」
- アウト ポケット** [out-pocket] (服)上着の外側に縫いつけたポケット
- アウトライト取り引き** [outright transaction] (経)直売取り引き。手持ち外貨の調整売買。⇔スワップ取り引き。